

ブドウ	園地が浸水した場合どのような影響が考えられますか。	樹種共通の回答を参照してください。	
	園地に土砂が流入して埋まっていますが、どうしたら良いですか。	樹種共通の回答を参照してください。 ブドウでは、台木部分まで土砂で埋没した状態をそのままにしていると、穂品種から根が発生することになります。特にブドウでは、フィロキセラ（ブドウネアブラムシ）抵抗性台木が利用されており、穂品種から根が出るとフィロキセラの被害を受けるため、年内までに主幹元の土砂の除去が必要です。	
	樹が倒伏したり折れたりした場合はどうしたらよいですか。	樹種共通の回答を参照してください。	
	樹勢低下がある場合に対処する方法がありますか。	樹種共通の回答を参照してください。	
	どのような病気の被害が心配されますか？	ブドウでは降雨によってべと病が多発する恐れがあります。対策として、園内の排水を改善するとともに伝染源となる病落葉の処理を徹底します。薬剤防除は病虫害防除基準に準拠して雨の合間に実施します。	
	殺虫剤を散布できない場合、どのような害虫の被害が心配されますか。	緑色系ブドウ（シャインマスカットなど）の場合、袋かけができていれば収穫できる可能性があります。袋かけが未実施の場合、防除を行わないとチャノキイロアザミウマやその他害虫の被害を受け、収穫は難しいと思われるます。 着色系ブドウ（巨峰など）についても同様ですが、無袋の場合でも、チャノキイロアザミウマの被害が目立たない状態であれば収穫は多少できるものと思われるます。 クビアカスカシバ、ブドウトラカミキリ、ブドウスカシバなどの枝幹害虫対策を今年行えない場合、次年度以降防除を行わないと被害を受ける可能性があります。	
	今後、高温と乾燥が続いた場合、どのような影響が考えられますか。	果粒肥大期に乾燥と乾燥が続いた場合、果粒肥大が抑制されたり、水まわり期までは縮果症が発生しやすくなります。このため、十分なかん水を継続します。かん水量が十分にできない場合は、敷き藁やマルチ被覆して土壌水分の保持に努めます。裂果しやすい品種は、水まわり以降、急激なかん水は避けて、こまめなかん水を心がけます。	